

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

機種により形状は異なります。
本書の表示例は A タイプを使用しています。

時刻・カレンダーモード

< Aタイプ >

< Bタイプ >

グラフ表示
現在時刻の秒に連動して点灯 / 消灯をくりかえします。

ELバックライト ON / OFF 切り替え
◎ ボタンを 1 ~ 2 秒間押し続けるごとに確認音が鳴り、ELバックライトの ON (点灯) / OFF が切り替わります。
「ELバックライトの自動発光」参照

表示照明用 EL バックライトについて

どのモードのときでも、◎ ボタンを 1 回押すと文字板が約 2 秒間発光します。
発光しているときにもう一度◎ ボタンを押すと、その時点から引き続き約 2 秒間発光します。
ライト OFF (消灯) でも◎ ボタンを押すと発光します。

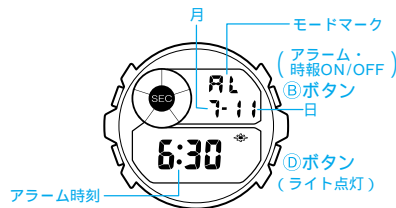


ELバックライトの自動発光
ライト ON (点灯) のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。

< ELバックライトの発光に関するご注意 >
直射日光下では、発光が見えにくくなります。
電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがありますが故障ではありません。
発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

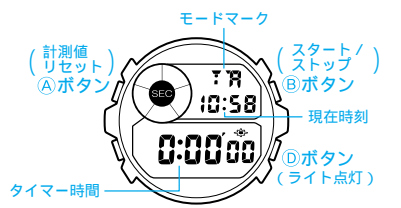
アラームモード

月・日が指定できるアラーム時刻セット、および毎正時の時報セットができます。



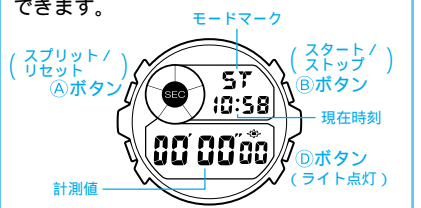
タイマーモード

1 秒単位で、最大 24 時間までの減算計測ができます。



ストップウォッチモード

1/100 秒単位 1 時間を超えると 1 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 24 時間計まで計測できます。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

秒の合わせ方...30 秒以内の遅れ / 進みの修正

月に 1 度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

(A) ボタンを押します

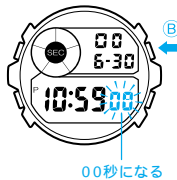
→ 「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、◎ ボタンを押します

→ 秒が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 分くりあがって、「00 秒」になります。

時報は「時報サービス電話 117 番」が便利です。



(3) 秒合わせが終わりましたら、

(A) ボタンを押して点滅を止めます



秒 (時刻・カレンダー) セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2 ~ 3 分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

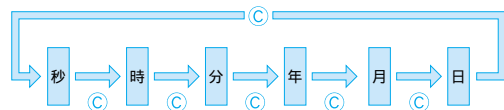
(A) ボタンを押します

→ 「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

(C) ボタンを押します

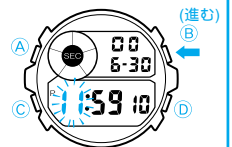
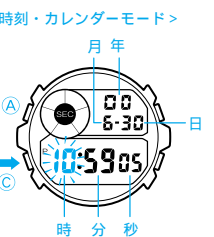
→ ◎ ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順で移動します。



(3) 点滅箇所のセット

(B) ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに、点滅している数字が 1 つずつ進みます。押し続けると早く進みます。



12/24 時間制表示切り替え

表示が点滅しているときに、◎ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 (午前 / 午後 "P") と 24 時間制表示 (24) とが切り替わります。

上記(2) ~ (3)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

「時」のセットのとき午前 / 午後(P)、24 時間制にご注意ください。

「年」は 1995 ~ 2039 年までセットできます。

なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4) セットが終わりましたら、(A) ボタンを押して点滅を止めます

アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに**Ⓒ** ボタンを1回押すと、アラームモードになります。アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

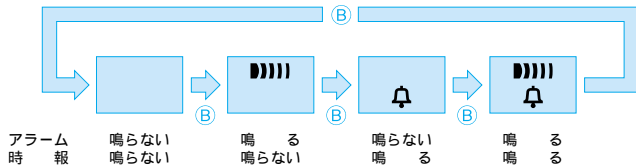
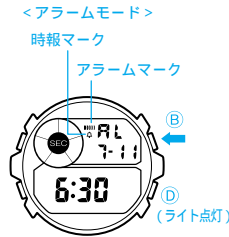
アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

Ⓔ ボタンを押します

→ **Ⓔ** ボタンを押すごとに以下の順でアラーム ON / OFF および時報 ON / OFF が切り替わります。

なお、アラーム時刻をセットすると“||||”が点灯し、自動的にアラーム ON となります。(「アラーム時刻のセット」参照)



アラーム・時報の報知方法

アラーム ON のとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

時報 ON のとき

毎正時(00分)になると、“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



ELバックライト ON (点灯) にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

鳴っている電子音を止めるには

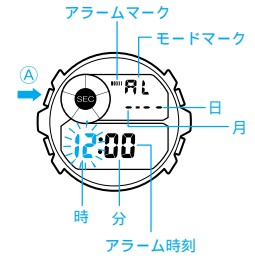
アラーム(時報)音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**Ⓐ****Ⓑ****Ⓒ****Ⓓ** ボタンのうち、いずれかが1つを押します。

アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、

Ⓐ ボタンを押します

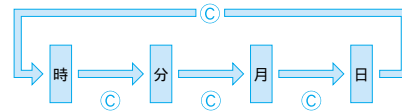
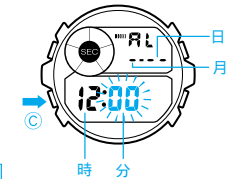
→ アラーム時刻の「時」が点滅します。このとき“||||”が点灯し、アラーム ON となります。



(2) セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

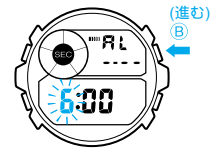
→ **Ⓒ** ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

Ⓑ ボタンを押します

→ **Ⓑ** ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。



「時」のセットのとき、午前/午後“P”にご注意ください。時刻を24時間制“24”にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

- 毎日鳴らしたいとき → 「時・分」のみセット
- 1ヵ月間毎日鳴らしたいとき → 「月・時・分」のみセット
- 毎月同じ日に鳴らしたいとき → 「日・時・分」のみセット
- 指定月に鳴らしたいとき → 「月・日・時・分」すべてセット

(4) セット後、点滅を止めるには、

Ⓐ ボタンを押します

セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに**Ⓒ** ボタンを3回押すと、ストップウォッチモードになります。ストップウォッチは23時間59分59秒(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

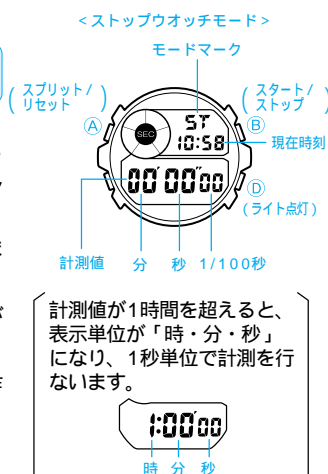
ストップウォッチモードのときに、

Ⓑ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

計測中に**Ⓐ** ボタンを押すと、スプリット計測となります。もう一度**Ⓐ** ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

計測終了後**Ⓐ** ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

Ⓐ・**Ⓑ** ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。



計測値が1時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行いません。



通常計測

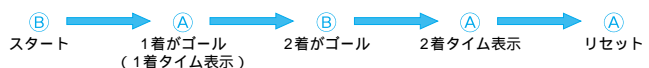


積算計測...ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(**Ⓑ** ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム(途中経過時間)の計測



1・2着同時計測



タイマーの使い方 時刻・カレンダーモードのときに③ボタンを2回押すと、タイマーモードになります。タイマーは、1秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

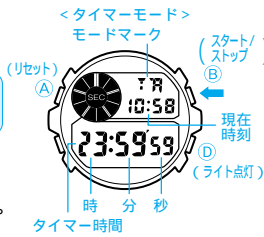
タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

③ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

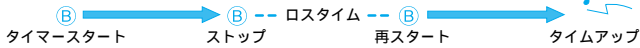
→ 減算計測は1秒単位で行ないます。

①ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。



ロスタイムがあるときは

減算計測中、③ボタンでストップ後、もう一度③ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

*オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

ELバックライトON(点灯)にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

リピートタイマー (繰り返し計測)

タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) "AUTO" 点灯
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

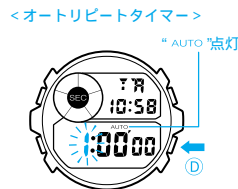
タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのときに、

①ボタンを押します

→ ①ボタンを押すごとに "AUTO" が点灯/消灯を繰り返します。

"AUTO" が消灯のときはリピートタイマー、
"AUTO" が点灯しているときはオートリピートタイマーとなります。



鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、タイマーモードのときに①③④⑤ボタンのうち、いずれか1つを押します。

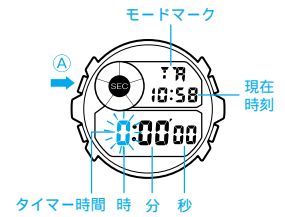
タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒 (0:00'01)」から「24時間 (0:00'00)」まで、1秒単位でセットできます。

(1) タイマーモードのときに、

①ボタンを押します

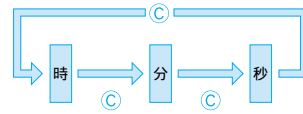
→ タイマー時間の「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

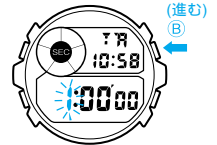
→ ③ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

⑤ボタンを押します

→ ⑤ボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。



表示が点滅しているときに④ボタンを押すと、タイマー方法 (リピートタイマー/オートリピートタイマー) が選ばれます。(詳しくは左記「タイマー方法を選ぶ」参照)



(4) セット後、点滅を止めるには

①ボタンを押します

セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。